

交通政策調査特別委員会 案件一覧

(令和6年12月5日開催分)

○所管事務報告 2件

| 部局 | 報告順 | 件名 | 資料番号 | 説明者(所管課長名等) |
|----------|-----|--|------|-----------------|
| まちづくり推進部 | 1 | 自動運転バスの実証運行 市街地展開について | 8 | 戸塚 公共交通・臨海部担当課長 |
| 都市基盤整備部 | 2 | トヨタ・モビリティ基金による交通事故削減に向けた実証実験の取組みへの協力について | 6 | 厚川 都市基盤計画調整担当課長 |

自動運転バスの実証運行 市街地展開について

1 概要

持続可能な公共交通の実現を図るため、今年度からバス事業者と連携しながら、市街地にて自動運転バスの実証運行を実施する。

2 運行ルート

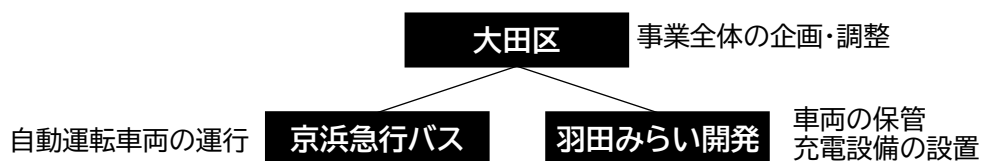
令和6年度 ルート図【案】 天空橋駅～萩中公園(片道4.2km)



3 運行スケジュール

- ① 試験走行 令和7年1月中旬(予定)
- ② 実証運行 令和7年1月24日から1ヵ月程度(予定) ※一般の方が乗車可能

4 運行体制



- 5 運行車両 ティアフォー製「Minibus2.0」
 最高速度:35 km/h(自動運転時)
 定員:定員16名(自動運転時・運転席含む)



6 その他

日本工学院専門学校と連携し、自動運転バスの社会受容性向上をテーマに学生がデザインしたラッピングバスが運行予定。

トヨタ・モビリティ基金による交通事故削減に向けた 実証実験の取組みへの協力について

1 背景・目的

このたび、一般財団法人トヨタ・モビリティ基金から大田区に対し、区内の自転車事故を削減するための実証実験などへの協力依頼があったため、覚書を取り交わし、協力して取り組んでいく。

2 トヨタ・モビリティ基金による取組みの概要

(1) 新技術「スマートポール」の活用による社会実験（別紙参照）

危険予測装置「スマートポール」を設置し、自転車利用者に対する事故の危険性の警告や意識啓発を行い、安全意識を定着させる社会実験を実施し、効果検証を行う。

(2) 自転車教室の開催

小学生向けの乗り方教室の開催や、子育て世代向けの自転車安全動画の作成・公開を実施する。

3 区の協力内容

(1) スマートポール設置箇所における町会関係者を含む地元への調整の協力

(2) 自転車教室の開催における会場の確保及び広報の協力

4 トヨタ・モビリティ基金による実証実験のスケジュール（予定）

| 内容 | | 令和6年度 | 令和7年度 |
|-------|------------------------------|-----------------------|--|
| データ活用 | (1) スマートポールの活用による社会実験 | データ分析 スマートポール設置 | データ取得/分析 LED表示実施 分析 各施策の改善 改善案の実行 |
| 啓発 | (2) 自転車教室、子育て世代向けコンテンツの作成・公開 | 自転車教室（複数回） コンテンツ作成 | コンテンツ公開/QR配布 引続き公開 |

5 トヨタ・モビリティ基金との覚書の締結（調印式）

(1) 日時 令和6年12月12日（木）17時から（予定）

(2) 場所 庁議室

法令順守率の向上・定着化：構想概要

仮説：法令順守状況を可視化し、地域住民にフィードバックすることで順守行動が増える

一時停止・減速行動の検知と、ポジティブなフィードバックによる法令順守率向上の効果検証を検討中

